農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

宮代町長 新井 康之

市町村名 (市町村コード)	宮代町 (114421)
地域名 (地域内農業集落名)	国納・西条原地区 (西新田・中通1・中通2・西深戸・西島・須賀上・須賀下・国納南・国納北)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月13日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

この地域は大規模な農業法人の参入などはないが、個人の農業者によってある程度集約化されている地域である。
しかし、エリア内の一部は耕作放棄地となっているため、解消するための取り組みが必要である。
規模拡大を行うためには水路等の整備も行い、営農環境を整えていく必要がある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

耕地整理を行い営農環境をある程度整えたうえで、農業法人のような大規模に耕作できる担い手を誘致し、耕作放棄地の解消を促す。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	59 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	59 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

今後も農業上の利用が見込まれる区域。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
特になし
(2)農地中間管理機構の活用方針
特になし
(3)基盤整備事業への取組方針
水路の修繕や耕地整備等を行い、営農環境を整えたうえで担い手への規模拡大を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
耕作放棄地になっている場所に大規模に耕作することが可能な農業法人の誘致を行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
特になし

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

--